

9 教育長記者会見

教育に対する県民の関心の高まりに伴い、教育行政施策の普及推進のため、教育長と県政記者との会見を実施した。

- ◇ 9月14日(水) 17:00～
 - ・内容 平成6年度福島県文化功労賞受賞者、平成6年度福島県教育・文化関係表彰者、平成6年度永年勤続表彰者の決定について
 - ・場所 教育委員室
- ◇ 10月24日(月) 15:40～
 - ・内容 平成7年度福島県公立高等学校生徒募集定員及び福島県立盲学校・聾学校・養護学校生徒募集定員について
 - ・場所 県政記者クラブ室
- ◇ 7年3月24日(金) 8:30～
 - ・内容 平成7年度福島県公立学校教職員・教育庁職員の人事異動について
 - ・場所 教育委員室

10 県政広報との連携並びに記者発表及び資料提供

広報を必要とする教育関係の情報・資料の提供について、広報広聴課の県政番組（印刷媒体・電波媒体）の随時の活用を図った。さらに、報道機関（16社）に関しては、庁内の広報を要する事項について、県政記者クラブに対する記者発表及び資料提供を随時行い、教育行政についての県民の理解と協力を得ることに努めた。月別の件数は次のとおりである。

内容 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
記者発表	3	1	2	2	0	1	1	1	5	4	6	5	31
記者クラブ資料提供	20	28	27	35	28	24	35	29	27	30	26	30	339

11 教育広聴会

教育行政に対する広聴活動として、昭和47年度から「地区別教育広聴会」として県内各地区を巡回して実施してきたが、平成6年度は次の3地区で開催した。

- ◇第1回 7月18日(月) 県中地区：郡山市
- ◇第2回 8月29日(月) 南会津地区：下郷町
- ◇第3回 9月7日(水) 相双地区：原町市

(1) 目的

県内各地の教職員、教育関係者及び地域住民等から、福島県の教育が抱える諸課題等について意見を聴取し、本県教育行政の参考に資するとともに、より良い教育行政の発展に反映させる。

(2) 主 題

3地区共通

「子どもたちの教育を充実させるために」

- ①高校教育の改革について ②登校拒否児童生徒の対応について ③学力向上について ④学校週5日制について

て ⑥その他

(3) 意見発表者(8名)

小・中・高校長及び教員、PTA関係者、市町村教育長、社会教育関係者、精神科医師

(4) 県教育委員会及び教育庁の出席者

教育委員長、教育委員、教育長、教育次長、総務・財務・義務教育・高等学校教育・養護教育・生涯学習・保健体育・文化課長、開催地区教育事務所長、総務課主幹、総務課広報調査係

(5) 教育広聴会の記録

開催地区教育事務所より報告書(記録)の提出があり、内容については、「教育福島」誌に写真とともに掲載し、教育行政の推進に役立てた。

12 教育関係広報・広聴活動研究協議会

(1) 目 的

県及び市町村教育委員会、公立学校等の関係諸機関の担当者が、相互の連携を図りつつ広報・広聴についての認識を深め、方法を理解し、さらに技術を高めることによって広報・広聴活動の一層の充実を図り、以て本県教育の進展に資する。

(2) 期 日

平成6年7月27日(水) 10:00～16:00

(3) 場 所

白河市「白河地域職業訓練センター」

(4) 参 加 者

県南地区管内における教育事務所、市町村教育委員会、公民館、図書館、市町村立学校、県立学校の広報担当者

(5) 内 容

- ① 講演 「世相あれこれ、進路あやまるな日本人」
福島民友新聞社編集局総務 大和 力氏
- ② 講義 「わかりやすい広報誌の作り方」
県広報協会「月刊ふくしま」主幹
三田 英昭氏
- ③ 研究協議 3分科会で発表、討議

13 平成6年度北海道・東北ブロック文部省指示説明会(調査関係)及び調査統計・企画・広報担当者会議

(1) 主 催 文部省、福島県教育委員会

(2) 期 日 4月27日(水)～28日(木)

(3) 場 所 福島県福島市「あづま荘」

14 平成6年度教育関係情報交流研究協議会北海道・東北地区研究協議会

(1) 主 催 文部省、青森県教育委員会

(2) 期 日 9月1日(木)～2日(金)

(3) 場 所 青森県浅虫「帰帆荘」